



市報

たかはぎ

市の人口と世帯数

	3月1日現在	前月比
人口	31,672人	(+7)
男	15,540人	(+10)
女	16,132人	(-3)
世帯	8,720世帯	(-5)

512名が中学へ巣立ち

3月23、24日、市内の各小学校で卒業式が行われました。今年小学校を卒業した児童は、男が247名、女が265名の計512名で、新しい希望を胸に中学生へと巣立っていきました。

東小学校では、新しく建てられた体育館で、今年でちょうど20回目を迎えた卒業式が行われました。

記念すべき体育館での卒業生になつた167名の児童には、1人1人校長先生から卒業証書が手渡たされ、卒業式に参加した来賓の方々から「はやく新しい環境になれ、立派な中学生になつてください」とお祝いのことばを受けていました。

新しい体育館で行われた東小の卒業式

”78

4月号

No. 217

高萩市市民憲章

1. 自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう
1. きまりを守り、明るいまちをつくりましょう
1. 礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう
1. 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう
1. 思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう



住みよいまちづくりめざして

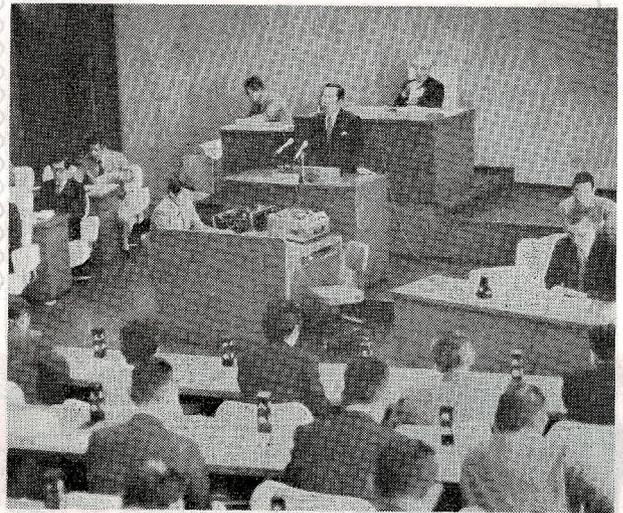
生活と福祉の向上にきめ細かな施策

53年度施政方針

昭和53年の第1回(3月)定例会市議会が、さる3月10日から24日まで15日間にわたって開会されました。その冒頭で鈴木市長は、昭和53年度の施政方針をあきらかにしました。要旨は、次のとおりです。

市政の4本の柱

教育	の	充	実
福祉	の	向	上
生活	環	境	の
産	業	の	振
業	の	興	興



3月10日第1回定例会市議会で施政方針を説明する鈴木市長

施政方針要旨

昭和53年第1回高萩市議会定例会の開会にあたり、市政を執行するにあつての基本的な方針および施策の内容について申し述べ、ご理解とご協力をお願いいたしますと存じます。

私はかねてから地方自治の最終目標は、地域住民の生活の安定と福祉の向上にあるという基本的認識のもとに、長期的展望にたつた高萩市総合振興計画を基礎として市政担当の信条としております。「生活を快適にする社会開発」「人間愛をはぐくむ人づくり」を旨とし、それぞれの政策課題ごとに各年次ごとの財政運営の中で、諸施策の実現に鋭意努力してまいりましたが、特に53年度は私の任期の最終年次を迎え、目標年次内に残

された諸般の懸案事項の解決を図るとともに、長期計画については実現への方向づけを明確にし、多くの住民要求と行政需要に積極的に応えることが、私に与えられた政治責任であると痛感しておる次第であります。

以上の観点から予算の編成にあつては、健全財政堅持を基本としながら歳入面では、国・県の制度の最大限活用とあわせて、市税をはじめあらゆる努力を払い財源の確保につとめ、歳出面においては、政策的には教育施設の充実、道路整備、農業生産基盤整備等の住民生活の基礎となる社会資本の整備を中心とした投資的経費の拡大を図り、経常経費については極力節減合理化を図つたしだいであります。

次に、政策課題ごとにその内容の主なものを申し上げます。

教育文化都市をめざして

教育の充実

学校教育

まず、「教育の充実」については、教育のもつ使命の重要性を深く認識するとともに、次の時代を

担う子弟の教育に対して思いをいたすとき、これに対処するため物心両面にわたる行政上の責任の重大なることを痛感するものがあります。

まず、52年度より着手いたしました君田小学校及び君田中学校の敷地造成工事と、中学校校舎移転

改築事業の完成を目指すとともに高萩小学校、秋山小学校にそれぞれ屋内運動場を建設し、教育施設の充実と教育の向上に資したいと考えるところであります。

また、幼児教育については、第一幼稚園の移転改築を実施するとともに、松岡幼稚園に一学級の増設をし、幼児教育の充実も図つてまいります。

なお、学校をはじめ各施設の補修整備にも配慮し、環境整備とあわせて教育内容の向上を図るための諸経費の計上をいたしました。

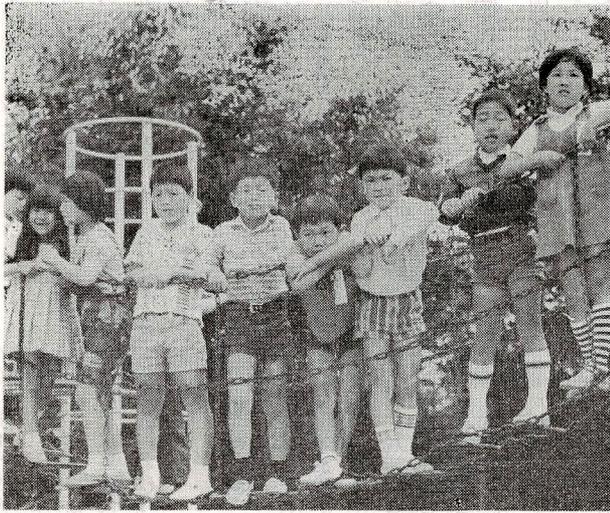
社会教育

社会教育の面につきましても、市民が真に精神面での生きがい

追求し、充実した社会生活を営むため、近年とみに活発化してまいりました芸術、文化、体育、スポーツ等の自主活動を助長し、更に広く深く浸透させるための配慮をいたしました。

また、高浜グラウンドに勤労青少年がスポーツ、レクリエーション趣味などの健全な余暇活動の場とする「勤労青少年ホーム」を建設し、高浜グラウンドの効率的な活用を図つてまいります。

また、文化財の保護につきましても、長い歴史と伝統につちかわれた本市の貴重な文化遺産を後世に伝えるべく文化財の調査、民俗民話などの収録などにも意を用いたしであります。



次代になう子どもたち、若者たちを育てる教育は、市がもつとも力を入れているものの一つです。
小・中学校は鉄筋校舎、体育館など教育施設の整備を急いでいます。

社会福祉の充実したまちづくり

福祉の向上

社会福祉

私は、従来から、「福祉の基本は心なり」との信念の下に、社会福祉、老人、母子、児童福祉、医療福祉等それぞれの対策にとり組んでまいりましたが、勿論行政的には財政の裏付けが必要であることは申すまでもありません。53年度におきましても実情に即して内容に厚みを加えるための努力をいたすとともに、身体障害者が社会復帰をするための訓練の費用の一



みんなが明るくしあわせな生活を築くため社会福祉の向上は、市政のかなめともいえます。給・食・宿、保育所の施設の整備や、ちびっこ広場の増設など、子どもの成長のための対策も進めています。

部を助成する措置を新しく講じました。

また、社会福祉協議会の福祉活動をより活発化するため購入する福祉専用バスに対する助成を含めて補助を増額いたしました。その他狭隘老朽化した高萩保育所の移転改築事業、上手綱地区へ子供の広場の建設、秋山地区の子供の水遊び場の増設等、施設の面も充実して、幼児のすこやかな成長のための対策も進めてまいりますと存じます。

医療対策

市民の最も深い関心事であります救急医療を中心とする医療体制につきましても、医師会の協力の

保健衛生

保健衛生面につきましては、健康保持の増進、疾病の予防、環境衛生の整備を重点に、多様な活動を展開してまいりますと存じます

また4つの医療機関が救急医療協力病院として協力されることになりました。

今後も県情報コントロールセンターとの連携のもとに、なお一層体制の充実強化のために努力を傾注してまいりますと存じます。

乳幼児検診

特に、住民検診事業の拡大強化を図るとともに、従来乳幼児の2歳児検診を独自に進めてまいりましたが、本年より1・5歳児検診へと早め、障害を早期に発見するとともに、発育の状態を知ることがかりにもしてまいりたいと存じます。公害対策につきましては、各種の調査、分析等を積極的に実施し引き続き公害の未然防止に努めてまいります。

国民健康保険事業

国民健康保険事業につきまして、年々増高する医療費により、国保財政の運営は困難の度を増し



おとしよりの健康診査、国民健康保険事業、育児相談、救急医療の対策など、市と医師会の協力のもとに市民の健康を守るため幅広い活動を進めています。

さらに、乳幼児の発育状態を早期に知る手がかりとしての1.5歳児の検診を進めていきます。

ており、根本的改善対策は県連合会を通じて国に対して申し入れておるものの、直ちに解決出来得る問題ではなく、当面被保険者負担の改定も考慮せねばならないと考えております。

保健活動

また、従来より行なつてまいりました保健婦活動が今回厚生省の国民健康管理対策基本構想により一般会計に属することになり、当市の従来の方針どおり、名実ともに国保のみでなく広く市民全般を対象とした健康維持、増進のための活動が出来るようになりましたので、さらに保健指導の充実を図つてまいる考えであります。

安心してくららせるまちづくり

生活環境の整備

道路や

下水路の整備

道路の整備は、社会資本充実のための基礎的課題であり、市民生活向上のため欠くことのできない要素として従来より重点的に取り組んでまいりましたが、引き続き国の制度を最大限に活用し、改良舗装の推進にあたり、排水路、下水路の改修、新設等も計画的に実施してまいる考えであります。

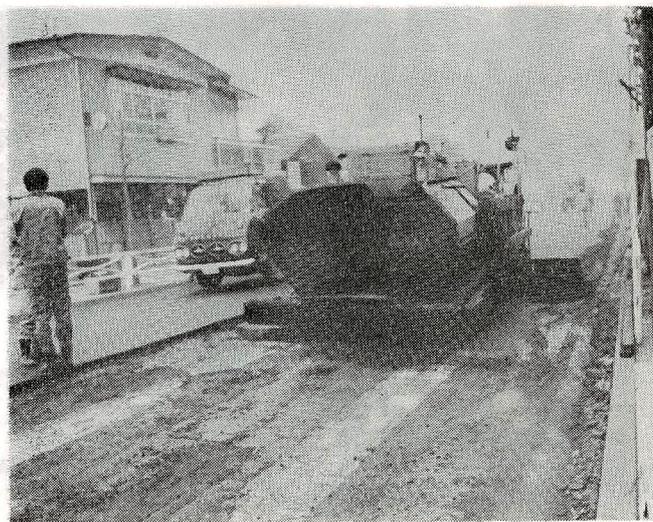
市営住宅の建設

市営住宅建設も20戸予定し、住宅対策にも意を用いたしだいであります。

また、先年基本計画を決定しております公共下水道については、実施認可計画を策定し、実施への具体化を進めてまいりる考えであります。

交通の対策

交通安全問題につきましては、



道路の整備は、市民の生活の向上に欠かせない課題です。改良・舗装工事など計画的に進めていきます。自動車の急激な増加に対して交通安全施設の整備など積極的にとり組んでいきます。

消防・防災の対策

人命尊重の立場にたつて、交通安全と事故防止にさらに積極的に取り組まなければならないと存じます。

そのため反射鏡の増設、側溝を利用した安全歩道をつくるなどに交通安全施設の整備を図るとともに、特に本年度は交通事故撲滅を念願して、市民総ぐるみの交通安全運動を一層強力に展開してまいりたいと存じます。

水道事業

水道事業につきましても、さらに給水人口の増大と普及率の拡大に努めるとともに、経営健全化の努力を続けてまいりる考えであります。また、要望の多い日本墓地の造成や、住居表示の実施準備のための費用も計上いたしました。

産業文化の発展と豊かなまちへ

産業の振興

産業の振興

「産業の振興」につきましては今日の農政の最大の課題であります水田利用再編対策の関連事業には、今後の対応に出来る限りの努力を払ってまいりたいと考えております。

農道、水路等の農業基盤整備も引き続き促進してまいります。

また、第2期山村振興事業、第2次林業構造改善事業、後谷地区総合整備事業、玉川地区かんがい



当市は、53年度の米の転作目標面積が68ヘクタールときびしい配分があります。農道、水路などの農業基盤整備も近代農業をめざして諸施策を進めていきます。

排水事業等については、事業効果をより早くあげ得るよう配慮したいであります。

商工業の対策

商工行政につきましては、最近活発化してまいりました自主的努力による経営改善の気運と近代化への意欲は、めざましいものがあり、近隣地域に比べて商業力指数が向上して、しだいに高萩商圏ともいべき現象が進みつつあることは、注目すべきことであり、この気運をさらに助長すべく融資対策地域整備等の援助も積極的に進めてまいりたいと考えております。

また、市民の自主発想による文化活動の気運は年々高まつてまいり、産業の振興とあわせて文化都

市としての基盤を整備していくべく基本姿勢をふまえて、市民が広く利用出来る施設の建設を検討してまいりましたが、工業再配置補助金の対象事業として、産業文化会館（仮称）の建設に着手する考えであります。

建設にあたっては、多くの意見を求め、より良い施設の建設を進めてまいりたいと存じます。

市民サービスの行政

このほか、行政事務におきましても、今後ますます複雑、多岐にわたる増大するであろう事務量に対応するため、従来より準備を進めてまいりました事務の電算化について、その対象範囲をさらに拡大し、よりよい市民サービスに寄与する考えであります。

市民の市政参加で

築きあげる市政に

以上、昭和53年度の施政の基本的方向と施策の大綱について申し述べましたが、近年にない積極的大型予算となつた新年度にのぞむにあたり、何よりも大切なことはこれらの施策が効果をあげるか否かの鍵は、諸施策の遂行に積極的にとり組む体制にあることはもちろんであります。究極は住みよい市づくりを願う市民の意欲にどう結びつくかということにかかっていると、思います。

このため市民憲章の理念を基調

とし、市民の正しい認識のもと幅広く市政への積極的参加をよびかけるとともに、全職員一丸となつて執行体制の強化と責任体制の確立に努め「日々新たなり」の信念のもと、情熱と勇気をもつて、与えられた責務の遂行に懸命の努力をいたす覚悟であります。

どうか各位におかれましては、特段のご理解、ご協力を賜わりますようお願い申しあげ、以上で、施政方針の説明を終わります。



市役所は、市民のみなさんと市政を結ぶ窓口です。常に明るく親しみやすい窓口を目標に市民サービスの改善につとめています。

市民のみなさんが市政に参加していただき、住みよいまちづくりをめざしていきます。

でみる予算の使いみち

総額で63億3,486万8千円

市道舗装事業費に 9,423万1千円

市道改良事業費に 1億8,639万5千円

市営住宅建設費に 1億1,818万3千円

有明下水道事業費に 1,200万円

公共下水道認可設計事業費に 1,000万円

生活環境の整備

土地改良総合整備事業費に 6,397万4千円

山村地域農林漁業特別対策事業費 1,413万1千円

団体営かんがい排水事業費に 2,727万円

土地改良事業費に 3,800万円

林業構造改善事業費に 7,794万5千円

産業の振興

環境整備事業費に 1億6,846万9千円

河川改良事業費に 4,687万2千円

排水路整備事業費に 1,490万2千円

交通安全対策費に 1,524万7千円

消防施設及び器具整備事業費に 911万9千円



森林総合利用用地取得事業費に 1億819万円

産業文化会館建設事業費に 2億8,454万1千円

商工業経営対策費に 1,239万7千円

商工会補助金に 682万5千円

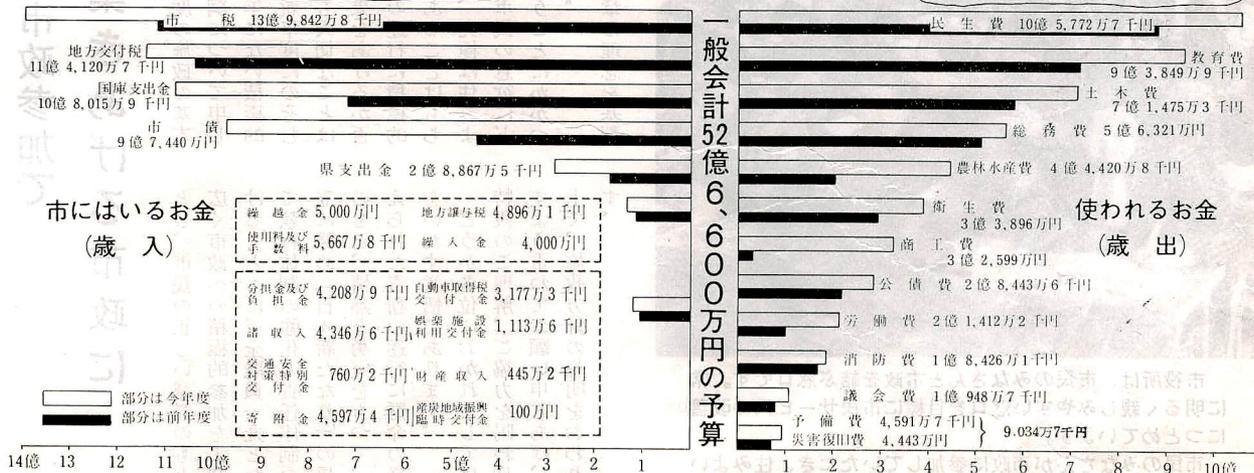
一般会計予算の歳入・歳出

のうちのわけです

うわあ！こんなに
お金がひつようなんだね…！

市の台所のうちのわけです

そうよ！
一年間使うお金ですもの
いろいろなことに使われるのよ



会計別予算額 (単位千円)

会計別	予算額	伸び率
一般会計	5,266,000	35.0%
特別会計		
国民健康保険事業	726,419	10.1%
農業共済事業	28,010	△5.0%
高萩霊園事業	1,495	△7.7%
企業会計		
水道事業	237,509	3.2%
工業用水事業	75,435	3.0%
合計	6,334,868	29.4%

絵とグラフ

53年度の予算は

一般会計は52億6,600万円

高萩市の53年度の予算がままりました。この予算は、4月から新年度にはいるため、3月の第1回定例市議会で可決されたものです。

住みよいか高萩をめざしているいろいろな事業がもり込まれています。

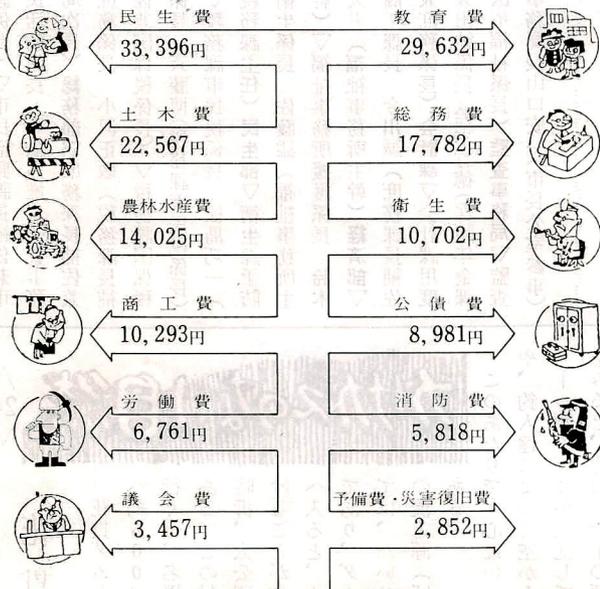
そこで、どのような事業に予算が使われるのか、絵とグラフで主なものをひろつてみました。

- 君田小学校用地造成に 6,916万2千円
- 高萩小体育館建設費に 8,770万6千円
- 秋山小体育館建設費に 7,032万1千円
- 君田中学校用地造成に 5,599万円
- 君田中学校舎建設費に 1億6,084万6千円

教育の

充実

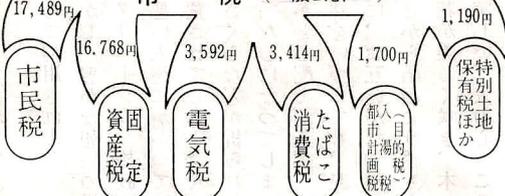
1人当り 166,266円



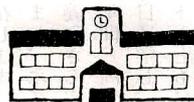
市民1人に使われるお金 (一般会計から)

人口 31,672人 53.3.1現在

市民1人が負担するお金 市税 (一般会計へ)



1人当り 44,153円



- 第1幼稚園舎建設費に 5,960万円
- みんなが参加する文化活動費に 417万1千円
- 社会体育事業費に 605万3千円
- 勤労青少年ホーム建設費に 1億404万6千円
- 教育指導主事設置費に 1,249万5千円

- 高萩保育所移転建設費に 5,766万5千円
- ちびつ子広場の建設費に 410万円
- 老人福祉対策費に 8,224万7千円
- 障害者福祉対策費に 4,897万6千円
- 社会福祉対策費に 1,827万3千円

福祉の

向上



- 医療福祉対策費に 1億6,657万7千円
- 児童福祉対策費に 1億9,888万6千円
- 生活保護対策費に 3億6,176万4千円
- 保健予防対策費に 3,170万円

第1回(3月)定例市議会

予算など全議案を可決

昭和53年第1回(3月)定例市議会は、3月10日から開会され、24日までの15日間開かれましたが昭和53年度一般、特別会計予算や条例の一部改正などの議案31件、報告1件などを審議しましたが、いずれも可決、承認されました。

また、任期満了にともなう公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任などの審議も行われました。

公平委員会委員には、原口良英

委員が任期満了となりましたが、議会の同意を得て再任されました

固定資産評価審査委員には、豊田克美委員が任期満了となり、新たに佐川好男氏、大能氏が議会の同意を得て選任されました。

人事異動

市役所の人事異動(係長以上)

市長公室▽開発課技佐兼開発係長 遠藤幸男(福祉事務所長補佐兼援

護係長)▽市民活動課長補佐兼市民活動係長 今橋昌雄(監査事務局長)

局長) 総務部▽庶務課長補佐兼庶務係長 小沢正敬(税務課長補佐)

兼国保係長)▽税務課国保係長 斎藤博(税務課市民税係長)

▽税務課市民税係長 松島巧一(税務課主任) 民生部▽衛生課予防衛生係長 佐藤猛(福祉事務所主幹)

▽福祉事務所援護係長 鈴木大尹(福祉事務所主幹) 経済部▽

商工課長 今川誠(庶務課長補佐兼庶務係長) 会計課▽会計課用度兼出納係長 鈴木竹徳(保険年金課

医療福祉係長) 監査事務局▽監査事務局長山口安一(市長公室参事)

ト教学園高校1年生で、シドニー地区の高校へ聴講生として1年間滞在します。

また、オグデンさんは、現在鈴木義和さん宅に滞在しています

1年間、高萩高校へ聴講生として毎日通学し、2年5組のクラスメイトとともに勉強しています。

オグデンさんは、とくにクラブ活動の剣道に興味をもち、放課後毎日練習に励んでいます。

「環境にめぐまれ、みなさんとも親切です」と話してくれました。

1年間の交換学生

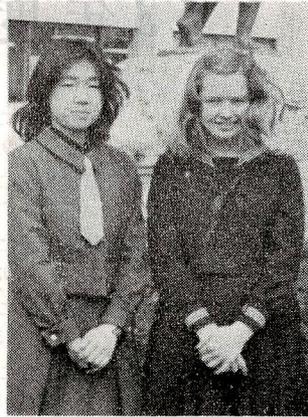
オーストラリアへ

鈴木真美さん

高萩には オーストラリアから

シャーン・マリー・

オグデンさん



ロータリークラブの交換学生

「市民としてはずかしくない国際親善の大役を果たします」

と語る鈴木真美さん(16歳)

東本町2の75には、鈴木義和さん(41歳の長女で、さる3月25日から1年間オーストラリアのシドニーに滞在することになっています

ロータリークラブが交換学生として招いたシャーン・マリー・オグデンさん(18歳)と交換学生としてオーストラリアへ派遣されたものです。

現在、鈴木さんは、茨城キリス

市民登場

自然なりかた

花貫ダムと自然(ウ)

花貫ダムから上流へ約500メートル行くと、名馬里橋がある。この付近で、時折、太公望を見かけることがある。右へ入ると、ウヅウ沢であり、ダムにとつては、たいせつな水の流入源(げん)である。

このあたりで、心ないハイカーや、釣人達によつて空かんや、ビール類のゴミが散乱しているのを見ると、そのマナーの悪さに憤りを感じる。

マナー(行儀作法)

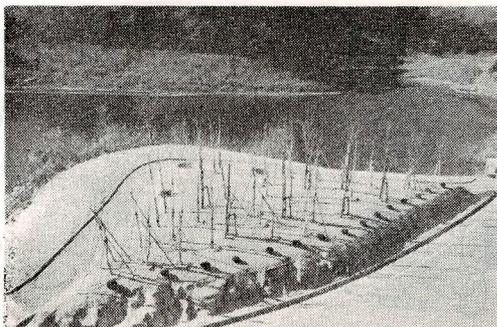
花貫ダムが人造湖として、美しい姿をみせている反面、非常識な人達によつて、汚されることはなんとも残念でならない。さらにメガネ橋あたりまでいくと、わざわざ、運んで来たゴミまで見うけられる。

県でも、ダム周辺環境整備事業を始めて、すでに、ダムから名馬里橋間の湖畔に、せまいなながらも「広場」をつくつた。いちようやさくら(ソメイヨシノ)などが植えられている。きれいに芝も張り上つて、春や、秋の行楽シーズンには、こども達や、家族連れによ

ろこんで利用されよう。しかし、豊かな憩いの場を与えるレクリエーション施設も、マナーの悪い人達にかかつては、たちまち荒されてしまう。せつかく植えたさくらなどが折られるようだと、台なしになつてしまうのではないかと心配である。

自然をいつまでも、美しく見るために、お互いがゴミ一つ落さないことから始めよう。もう四月、春の花が美しく咲き、木々に芽生えが美しい。人の心もこの花や、木々のように、いつまでも美しくありたい。

(高萩市自然を愛する友の会)



整備の進むダム湖畔

戦傷病者等の妻に対する「特別給付金」の請求は

7月31日までです

戦傷病者等の妻に対する特別給付金支給法の規定による「特別給付金」の支給を受けることができ、今年7月31日までの請求期限が、今年7月31日までに満了しますので、支給条件に該当される方で、まだ請求手続きのすんでいない方は、早めに手続きをとってください。

支給を受けられる条件

昭和49年遺族等援護法等の改正

により、昭和49年9月1日において障害年金（障害一時金）が支給されることになった旧防空法による防空に従事中の戦傷病者（警防団・医療従事者）は、昭和38年4月1日において当該年金を受けていた者とみなし、その妻に国債で5万円、（ただし一か症以上の者は10万円）の特別給付金が支給されます。

くわしいことは、市福祉事務所



街

春日町は、高萩のメインストリートで、最近新しいビルが次々と建ち、店頭も美しくデザインされ、街行く人の装いにも生気が感じられる。春は正に到来。花見も間近である。

絵と文・伊藤龍馬

社会係（内線283）へお問い合わせください。

4月から
国民年金の保険料が
月額 2,730円に
改正されました

国民年金は、歳をとつたり、障害者になつたときや、母子世帯になつたことなどにより、所得がなくなつた場合や、少なくなつた人に対して年金を支給することによつて所得の保障を行うことを目的としています。

そのために、国民年金では、物価の変動に応じて年金額を改定するいわゆる「物価スライド制」が採用され、また、制度の内容も充実改善がはかられています。

ところで、国民年金の財源は、加入者の保険料と国の負担によつてまかなわれていますから、給付と保険料は切つても切れない関係にあります。

年金額の引き上げによつて保険料の額の引き上げも行われることになり、4月から月額2,200円が2,730円に改正されました。

たかはぎの歴史

30

赤浜妙法寺過去帳
(十九)

志田諱一

天正八年（一五八〇）の死亡者に、「妙永霊、なべ」とある。「なべ」は鍋で、この女性は生前「お鍋」と呼ばれていたのである。

元和七年（一六二二）の死亡者に、「法心霊、五月四日、磯原、九歳にて死、竹と名を申すなり」とみえる。この少女は「お竹」と呼ばれていたのである。若竹のように素直に、のびのびと育つことを願つて、両親がつけたにもかかわらず、「お竹」は九歳でこの世を去つたのである。

ところで、中世の高萩地方の女性の名をみると、亀、熊、松、竹、虎、鶴、菊、千代などが多かったようである。このうちで、菊、松

千代を除くと、そのほかは中世の日本女性の一般的な名前であった。天正十三年（一五八五）にイエズス会の宣教師ルイス・フロイスの書いた「日欧文化比較」という本に「われわれの間では女性の名は聖人からとるが、日本の女性の名は、鍋、鶴、亀、靴、茶、竹などがある」とみえる。

つまりヨーロッパの女性の名は「マリヤ」、「テレサ」などのように、キリスト教の聖人の名からとつた者が多いが、日本の女性の名はそうではないというのである。

鍋、鶴、亀、竹は高萩地方の女性の名にもあるが、茶はない。豊臣秀吉の側室となつた浅井長政の娘（のちの淀君）の名は「ちやちや」なので、「茶」は武士などの娘につけられた名と思われる。

「靴」にあたるものは、そのころ「げげ」と呼ばれた、わら草履をさしている。それにしても、「げげ」とは、ひどい名をつけたものである。



○吉田ひさ子さん 大和町 社会福祉へ 5,155円
○鈴木とみさん 安良川 めぐま れない人に 30,000円

春の引越しには
使つて便利 送つて安心
国鉄コンテナを

相談先は
国鉄日立駅構内貨物
営業センター
TEL (21) 6642へ

「交通安全帽子をかぶって安心して通学してください」一高萩市農業協同組合では、今年小学校へ入学されることも全員に、黄色い帽子を贈りました。

この帽子は、新しく入学することもたちを交通事故から守るための交通安全対策の一つとして毎年行なっているもので、今年で3年目になり、農協では今後も続けるといことです。また、安心して通学できるようスクールゾーンに道路標識なども各所に設置しています。

新入学児に黄色い帽子をプレゼント



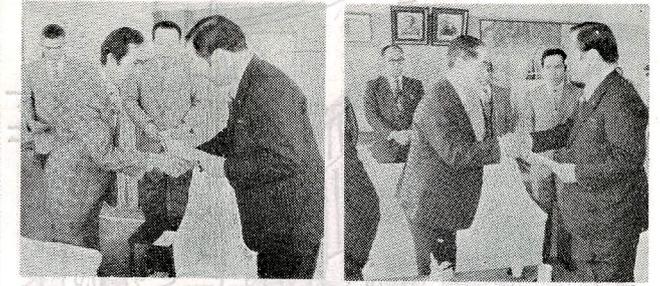
高萩市農業協同組合が

4月28日(金) 補装具と補聴器
5月26日(金) 補装具のみ
6月30日(金) 補装具のみ
場所 高萩市研修会館
持参するもの

補装具の相談

53年度の県民交通災害共済加入申込み受付を市民相談室で行なっています。
万が一の事故に備えて県民交通災害共済に加入しましょう。会費は年間大人600円、中学生以下は300円です。

県民交通災害共済の手続きは早めに



学校や福祉のために多額の寄付

高萩ライオンズクラブと内田さん

さる3月7日、市役所に高萩ライオンズクラブ(棚谷博会長)のみなさんと、内田雄啓さん(内田病院院長)＝大和町＝がおとずれ鈴木市長に「学校の教材や福祉のために役だててください」と寄付の申し入れがありました。

- 高萩ライオンズクラブ(10周年を記念に)
 - 高萩市文化事業団設立基金に 1,000,000円
 - 市内小・中学校教材費として 500,000円
 - 高萩警察署へ 150,000円
 - 高萩ボーイスカウトへ 150,000円
 - 高萩臨海学園へ 100,000円
 - 高萩市町名表示板 300,000円
 - 高萩市社会福祉協議会へ 150,000円
 - ママさんコーラスへ 100,000円
 - 十王町ガールスカウトへ 50,000円
- 内田雄啓さん(善意銀行へ) 1,000,000円

(写真=右がライオンズクラブ代表・左が内田さん)



第2回交通安全市民大会開かる

3万市民を交通事故から守ろう——と3月26日市民体育館で、第2回交通安全市民大会が開かれました。

大会には、交通安全母の会、交通少年団など関係団体や、市民250人が出席。正しい交通ルールと交通事故をなくそうと大会を盛りあげました。

4月6日から15日まで「春の全国交通安全運動」が行われます。市民のみなさんの協力をお願いします。

日曜診療のお知らせ

月日	医 院	所在地	電 話
5月 7日	宍戸 医院	安良川	(8) 2 3 1 8
14日	檉村 医院	大和町	(2) 3 1 5 6
21日	福光 医院	春日町	(2) 2 3 1 4
28日	内田 病院	大和町	(2) 2 1 3 7

○源泉徴収票が納税証明書
○身体障害者手帳と印かん
時間 午前9時から12時まで

公民館講座生募集のお知らせはチラシで
昭和53年度、中央公民館主催の講座、学級生の募集については、後日、各世帯配付のチラシでお知らせします。
お問い合わせなどは、高萩市中央公民館(電話(8)1125)へ

お金や相続のもめごとは
公証役場で相談を
公証役場は、あなたの権利を正しく確実に守る「公正証書」を作成してくれるところです。
公正証書は、金銭の貸借、土地建物の賃貸借、交通事故の示談契約などについて、法律の専門家の公証人が法律に基づいて作成しますので、法律に適合し、内容も明確なので、後日の紛争防止に大変役立ちます。
また、期限内に金銭の支払がない場合は、裁判をしなくても、公正証書だけで差し押えができます。
自分が亡き後の遺産相続については、遺言公正証書で遺産の配分などについて指示しておきますと遺留分を除く範囲内で指示通りに遺産が分割され、紛争を防ぐことができます。
くわしいことは、日立公証役場 日立市神峰町1-10-3-204 さくらビル内(電話0294(21)5971内線5)でおたずねください。